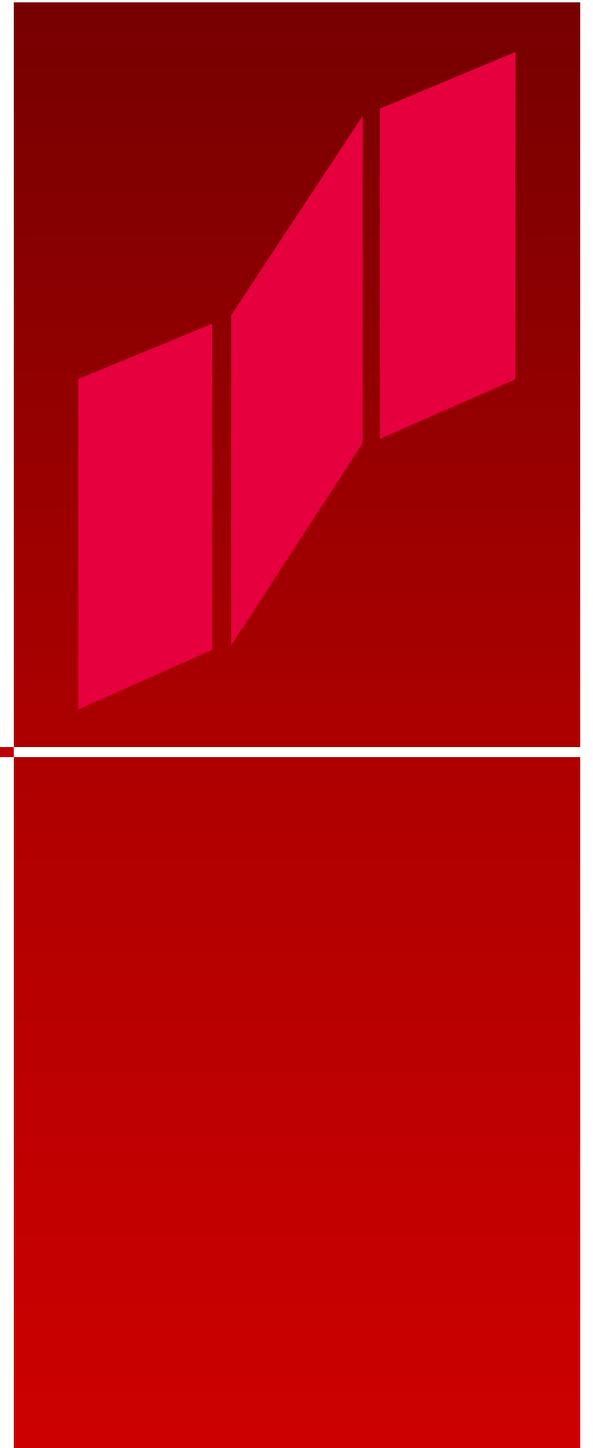


2019年3月期 第2四半期決算説明資料

SMBC日興証券株式会社

2018年10月30日



		[参考資料]	
2019年3月期 第2四半期決算サマリー	2	四半期損益推移 (連結)	19
業績の四半期推移	3	四半期損益推移 (SMBC日興証券)	20
純営業収益・商品販売の状況	4	営業指標-1	21
株式委託手数料	5	営業指標-2	22
投信募集・ファンドラップ・代行手数料	6	営業指標-3	23
トレーディング損益	7		
引受関連手数料 (株式・債券)	8		
M&A	9		
三井住友銀行との連携について	10		
(参考資料) 銀証合算のリテール運用資産残高について	11		
販売費・一般管理費	12		
連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況	13		
預り資産残高・資産導入額	14		
海外拠点の業績推移	15		
海外ネットワーク	16		
トピックス	17		

・本資料は、当社の業績等に関する情報の提供を目的として、2018年10月30日現在のデータに基づいて作成しております。また、本資料には資料作成時点の当社の見解を記載しており、当社は、その正確性及び完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。

※ 連結決算を開示しております。特段の記載のないものは連結の業績を記載しております。

2019年3月期 第2四半期決算サマリー



2019年3月期
上期

- **純営業収益1,735億円(前年同期比+5%) 経常利益362億円(同-13%) 当期純利益(*1) 279億円(同-3%)**
ファンドラップ手数料・代行手数料、引受手数料、株式委託手数料等の増加により、増収
- 株式委託売買代金は16.8兆円(同+15%)
商品販売額合計は5.5兆円(同+13%)
投信販売額は1.3兆円(同+15%)、外債販売額1.7兆円(同+10%)、国内債販売額2.1兆円(同+16%)
- 引受手数料は186億円(同+50%)
2018年度リーグテーブルは、グローバル株式・ブックランナー3位(*2)、円債総合・主幹事3位(*3)、M&A公表案件取引金額ベース10位、案件数ベース1位(*4)
- 販売費・一般管理費は1,408億円(同+13%)
- 2018年9月末の総資産11.2兆円、純資産8,318億円
自己資本規制比率(SMBC日興証券単体)は388%と安定した財務基盤を維持

2019年3月期
第2四半期

- **純営業収益871億円(前四半期比+1%) 経常利益181億円(同+1%) 当期純利益(*1) 129億円(同-14%)**
第1四半期は、連結納税ベースでの税額控除適用等により税金費用が減少していたため、前四半期比で当期純利益が減少
- 商品販売額合計は3.0兆円(同+21%)、国内債販売額は1.2兆円(同+38%)と増加

経営成績 (単位: 億円)	19/3期		前四半期比 増減率	18/3期 上期	19/3期 上期	前年同期比 増減率
	1Q	2Q				
営業収益	973	969	-0%	1,830	1,942	+6%
純営業収益	864	871	+1%	1,648	1,735	+5%
販売費・一般管理費	702	705	+0%	1,247	1,408	+13%
経常利益	180	181	+1%	418	362	-13%
税金等調整前当期純利益	173	180	+4%	410	354	-14%
当期純利益(*1)	149	129	-14%	288	279	-3%
財政状態	2018年 3月末	2018年 9月末	前期末比 増減額	2017年 9月末	2018年 9月末	前年同期末比 増減額
総資産	10.6兆円	11.2兆円	+0.6兆円	12.4兆円	11.2兆円	-1.1兆円
純資産	8,187億円	8,318億円	+131億円	5,643億円	8,318億円	+2,674億円

(*1) 当社株主に帰属する当期純利益

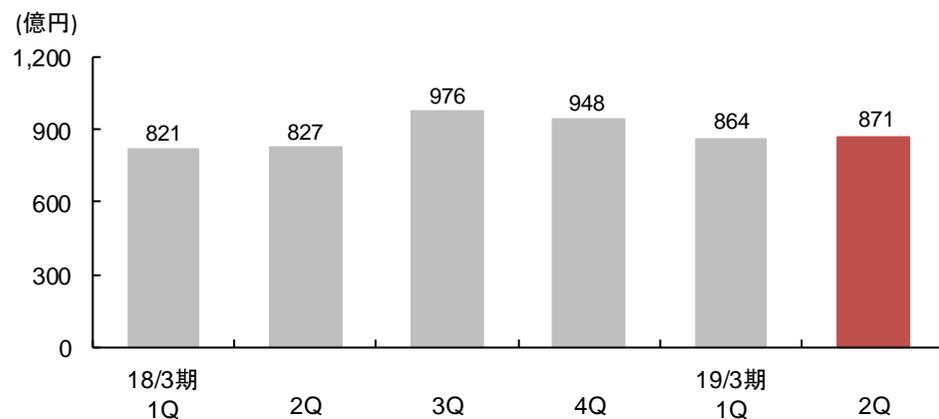
(*2) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

(*3) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

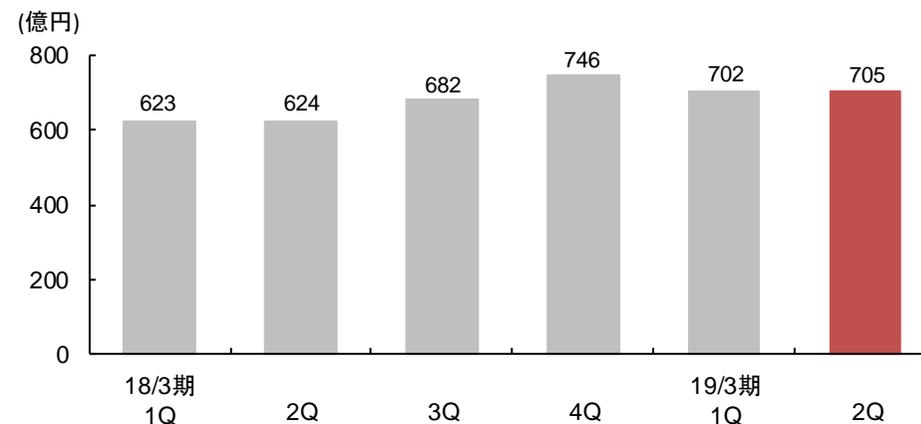
(*4) 出所: THOMSON REUTERS 日本企業関連M&A公表案件

業績の四半期推移

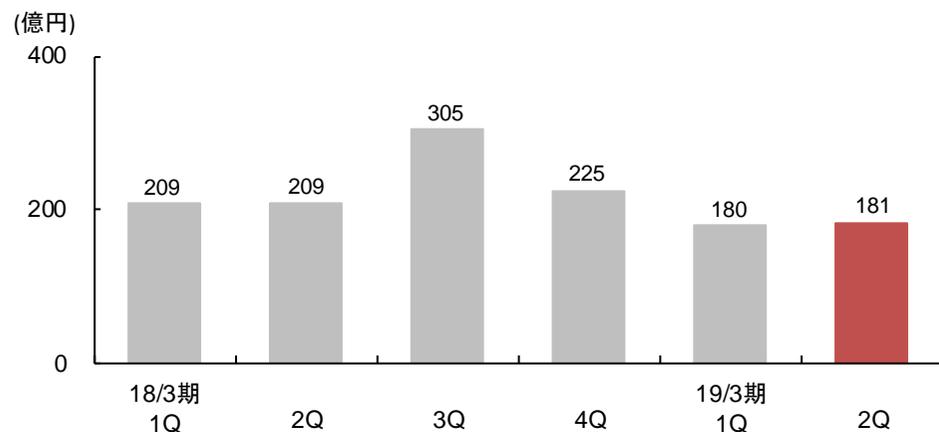
純営業収益



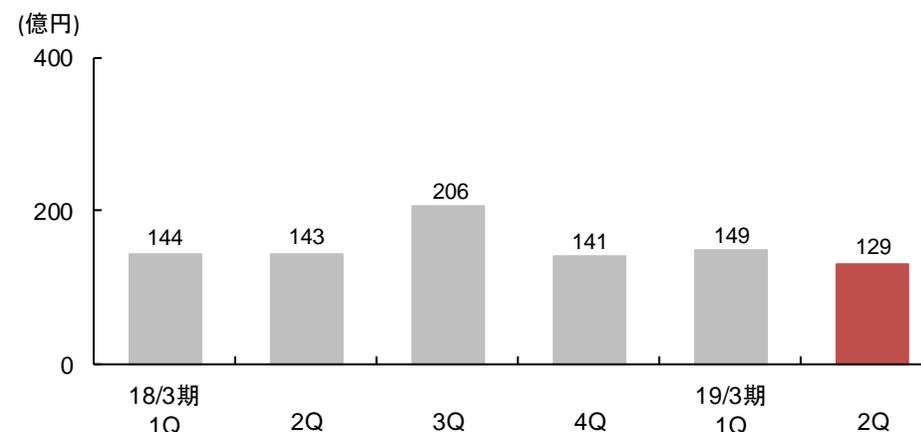
販売費・一般管理費



経常利益



当期純利益(*)

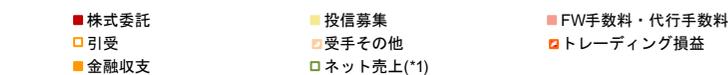


(*) 当社株主に帰属する当期純利益

純営業収益・商品販売の状況

- ◇ 上期の純営業収益は1,735億円(前年同期比+5%)、商品販売額合計は5兆4,848億円(同+13%)
- ◇ 第2四半期の純営業収益は871億円(前四半期比+1%)、商品販売額合計は3兆45億円(同+21%)

純営業収益 推移(億円)



	19/3期 1Q	2Q	前四半期比	18/3期 上期	19/3期 上期	前年同期比
株式委託	99	90	-10%	172	189	+10%
投信募集	101	94	-7%	195	195	-0%
FW手数料・代行手数料	156	160	+2%	246	317	+29%
引受	88	98	+11%	124	186	+50%
受手その他	56	72	+28%	113	129	+14%
トレーディング損益	340	311	-8%	727	652	-10%
金融収支	16	37	2.3倍	63	54	-14%
ネット売上(*1)	3	5	+68%	5	9	+79%
合計	864	871	+1%	1,648	1,735	+5%

商品販売額 推移(億円)



【SMBC日興証券単体】

	19/3期 1Q	2Q	前四半期比	18/3期 上期	19/3期 上期	前年同期比
投信	6,507	6,382	-2%	11,167	12,888	+15%
FW	978	656	-33%	2,080	1,633	-21%
外債(*2)	7,342	9,346	+27%	15,125	16,688	+10%
国内債	8,815	12,181	+38%	18,155	20,996	+16%
(うち個人向け国債)	(1,168)	(1,846)	(+58%)	(3,041)	(3,014)	(-1%)
株式募集	910	1,084	+19%	1,923	1,994	+4%
年金・保険	251	397	+58%	251	648	2.6倍
合計	24,803	30,045	+21%	48,701	54,848	+13%

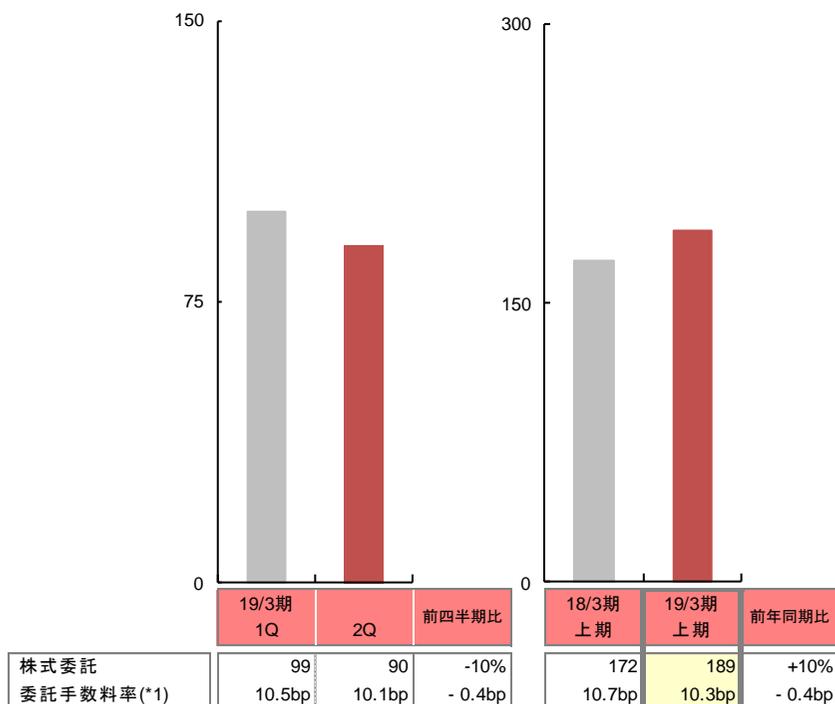
(*1) 売上高-売上原価

(*2) 外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む

株式委託手数料

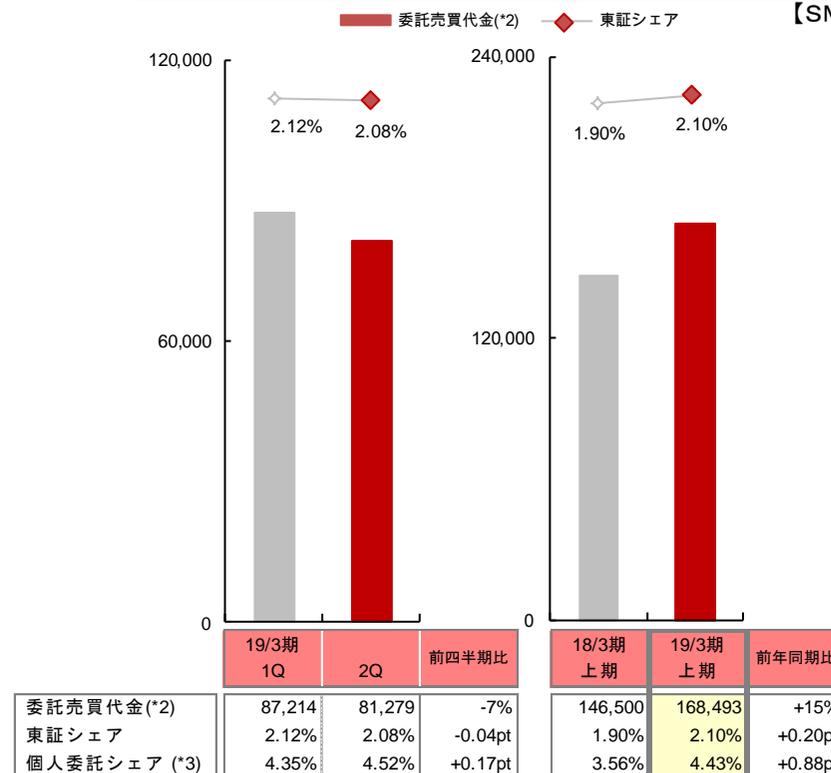
- ◇ 上期の株式委託手数料は189億円(前年同期比+10%)、株式委託売買代金は16兆8,493億円(同+15%)
前年同期比では、委託売買代金の増加もあり、株式委託手数料は増加
- ◇ 第2四半期の株式委託手数料は90億円(前四半期比-10%)、株式委託売買代金は8兆1,279億円(同-7%)
前四半期比では、委託売買代金の減少もあり、株式委託手数料は減少したが、個人委託シェアは引き続き順調に推移

株式委託手数料 推移(億円)



株式委託売買代金・東証シェア 推移(億円、%)

【SMBC日興証券単体】



(*1) 調整後株式委託手数料÷株式委託売買代金(集計対象:現物及び信用取引)

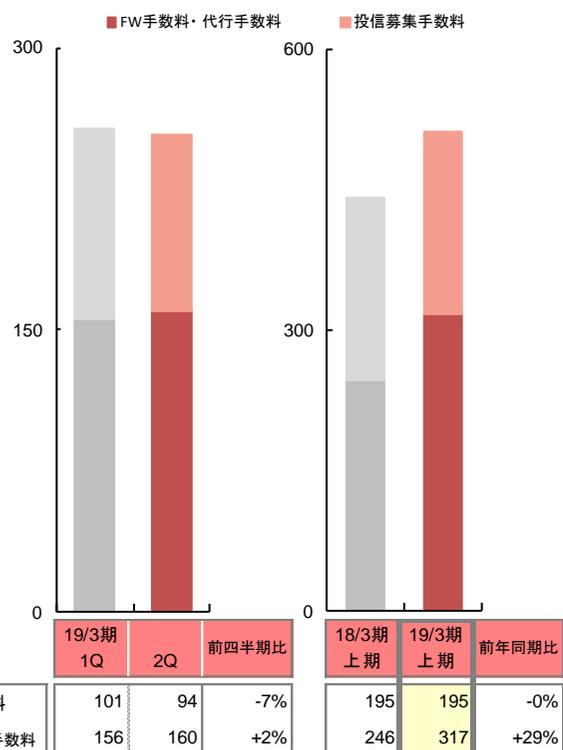
(*2) 集計対象は全市場

(*3) 集計対象は東証・名証の一部・二部等

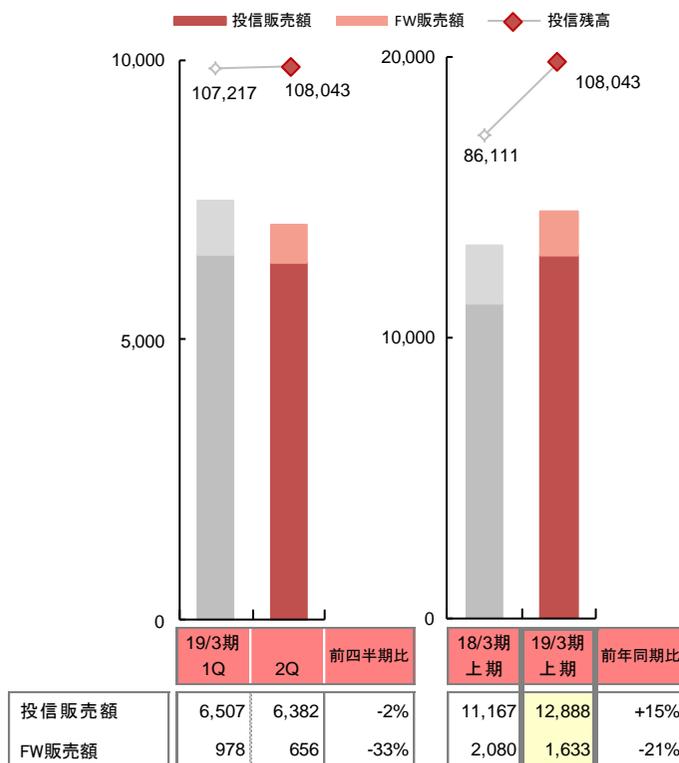
投信募集・ファンドラップ・代行手数料

- ◇ 上期の投信募集手数料は195億円(前年同期比-0%)、投信販売額は1兆2,888億円(同+15%)
販売額は増加しているものの、法人向け投信の販売が増加したこともあり、投信募集手数料は減少
- ◇ 第2四半期の投信募集手数料は94億円(前四半期比-7%)、投信販売額は6,382億円(同-2%)

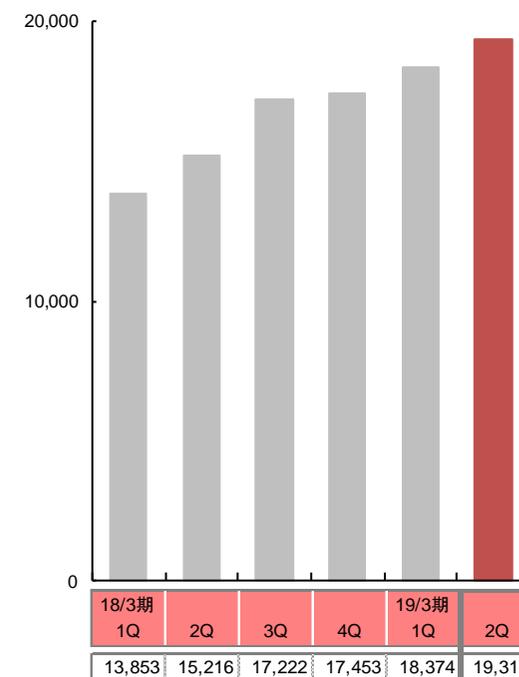
投信募集手数料等 推移(億円)



投信販売額/投信残高 推移(億円)



ファンドラップ残高 推移(億円)(*)

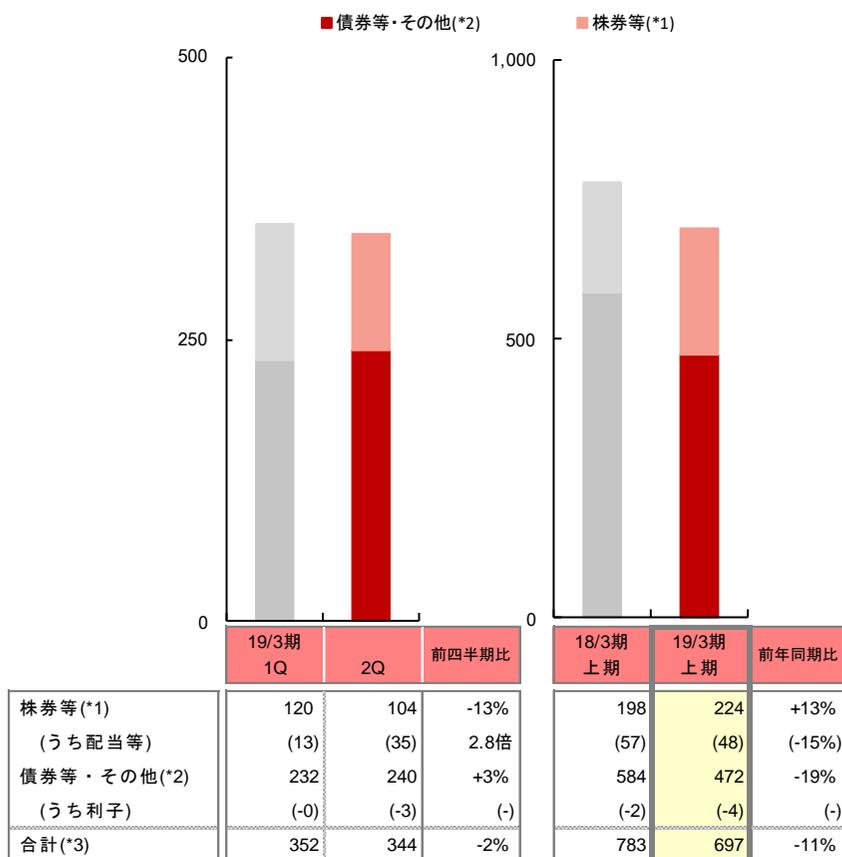


(*) ファンドラップ残高は当社における預り残高を集計

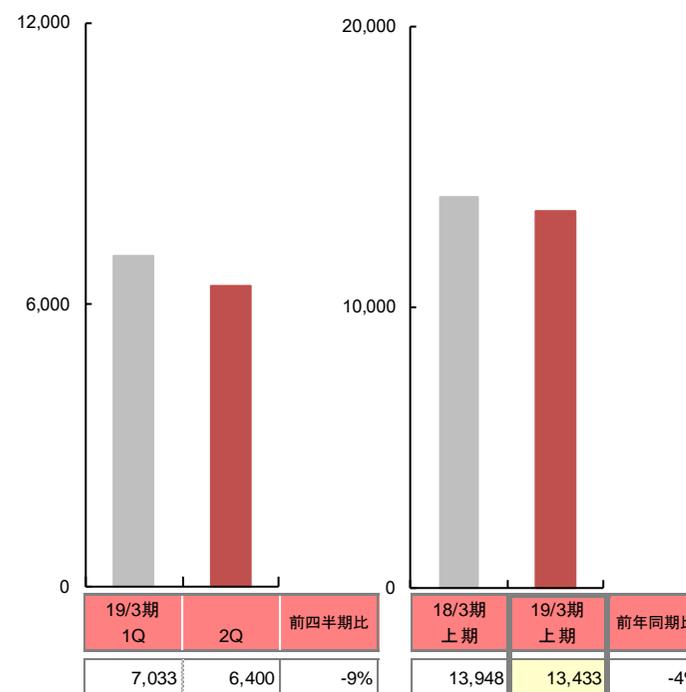
トレーディング損益

- ◇ 上期のトレーディング損益(金融収支調整後)は697億円(前年同期比-11%)、外債販売額(*4)は1兆3,433億円(同-4%)
 - ◇ 第2四半期のトレーディング損益(金融収支調整後)は344億円(前四半期比-2%)、外債販売額(*4)は6,400億円(同-9%)
- 前四半期好調だった外国株式の店頭取引が減少し、株券等トレーディング損益は減少

トレーディング損益(金融収支調整後) 推移(億円)



外債販売額 推移(億円)(*4)



【SMBC日興証券単体】

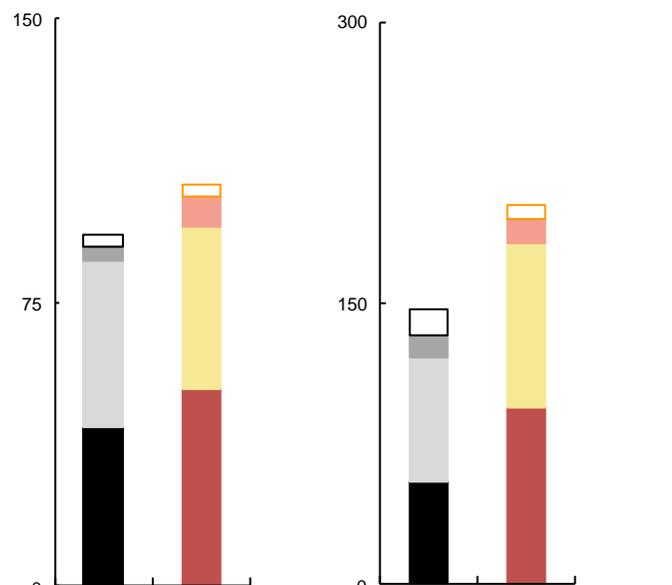
・配当落ち等の影響を補完したトレーディング損益(金融収支調整後)を表示
 (*1) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる配当等(純額)を集計範囲に含む(一部レンディングによる配当含む)
 (*2) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる債券利子(純額)を集計範囲に含む
 (*3) ファンディングコストは集計範囲に含まない
 (*4) 当第2四半期より、外債販売額に含まれる円建外債の募集に係る金額を控除して表示(2018年3月期は過去遡及の上表示)

引受関連手数料 (株式・債券)

- ◇ 上期の引受手数料は186億円(前年同期比+50%)
- ◇ 第2四半期の引受手数料は98億円(前四半期比+11%)
- ◇ 2018年度 グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナーは3位(シェア13.4%)、新規公開株式引受は案件数ベース(主幹事)3位・引受金額ベース5位、円債総合-主幹事は3位(シェア18.7%)

引受関連手数料(株式・債券) 推移(億円)

■ 株式 ■ 債券 ■ 募集手数料(株式・債券) ■ その他引受関連手数料(*1)



	19/3期 1Q	2Q	前四半期比	18/3期 上期	19/3期 上期	前年同期比
引受手数料	88	98	+11%	124	186	+50%
株式	42	52	+23%	55	94	+71%
債券	44	43	-2%	66	88	+34%
募集手数料(株式・債券)	4	8	+74%	12	13	+6%
その他引受関連手数料(*1)	3	3	-0%	14	7	-50%

グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー(*2) 2018年度

順位	ブックランナー	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	野村	3,713	17.6%
2	JPモルガン	3,180	15.0%
3	SMBC日興	2,828	13.4%
4	大和	2,778	13.1%
5	ゴールドマン・サックス	2,563	12.1%

新規公開株式引受(*3) 2018年度

【案件数ベース】			【引受金額ベース(単位:億円)】		
順位	主幹事	件数	順位	引受金額	金額
1	みずほFG	15	1	野村	958
2	野村	11	2	大和証券グループ本社	728
3	三井住友FG	9	3	モルガン・スタンレー	678
4	大和証券グループ本社	7	4	みずほFG	360
5	SBIホールディングス	6	5	三井住友FG	232

円債総合-主幹事(*4) 2018年度

【SMBC日興証券単体】					
順位	主幹事	引受金額 (億円)	シェア (%)		
1	みずほ	26,348	22.6%		
2	野村	22,828	19.6%		
3	SMBC日興	21,728	18.7%		
4	大和	20,011	17.2%		
5	三菱UFJモルガン・スタンレー	16,808	14.4%		

(*1) 流動化アレンジメントにかかわる収益を含む

(*2) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(海外拠点を含む)

(*3) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(海外拠点を含む)

(*4) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(事業債、財投機関債、地方債[主幹事方式]、サムライ債)

◇ 2018年度 M&Aリーゲテーブルにおいて、取引金額ベースで10位(占有率29.5%)、案件数ベースで1位(同4.5%)

ファイナンシャル・アドバイザー 取引金額ベース 2018年度

順位	アドバイザー	取引金額 (億円)	占有率 (%)
1	モルガン・スタンレー	175,654	75.4%
2	ゴールドマン・サックス	161,417	69.3%
3	JPモルガン	159,770	68.6%
4	Evercore Partners	147,933	63.5%
10	三井住友フィナンシャルグループ	68,584	29.5%

ファイナンシャル・アドバイザー 案件数ベース 2018年度

順位	アドバイザー	案件数	占有率 (%)
1	三井住友フィナンシャルグループ	81	4.5%
2	みずほフィナンシャルグループ	77	4.3%
3	野村	52	2.9%
4	モルガン・スタンレー	33	1.8%
5	プルータス・コンサルティング	30	1.7%

主なM&Aの公表案件 2018年度

ソフトバンクグループの米国子会社であるSprint CorporationによるT-Mobile US, Inc.との合併
(当社はソフトバンクグループのアドバイザー)

伊藤忠商事によるユニー・ファミリーマートホールディングスの公開買付け
(当社はユニー・ファミリーマートホールディングスのアドバイザー)

山陽特殊製鋼の新日鐵住金に対する第三者割当増資による子会社化及びスウェーデンのOvakoの買収
(当社は山陽特殊製鋼のアドバイザー)

博報堂DYホールディングスによるD. A. コンソーシアムホールディングスに対する公開買付け及び完全子会社化
(当社はD. A. コンソーシアムホールディングスのアドバイザー)

楽天とぐるなびによる資本業務提携
(当社はぐるなびのアドバイザー)

アドバンテッジパートナーズがサービスを提供するファンドによるFUJIへのファスフォードテクノロジー株式の譲渡
(当社はアドバンテッジパートナーズのアドバイザー)

三井住友銀行との連携について

◇ 個人のお客様の口座数、法人のお客様の紹介件数はともに拡大しており、銀証連携は引き続き順調に進展

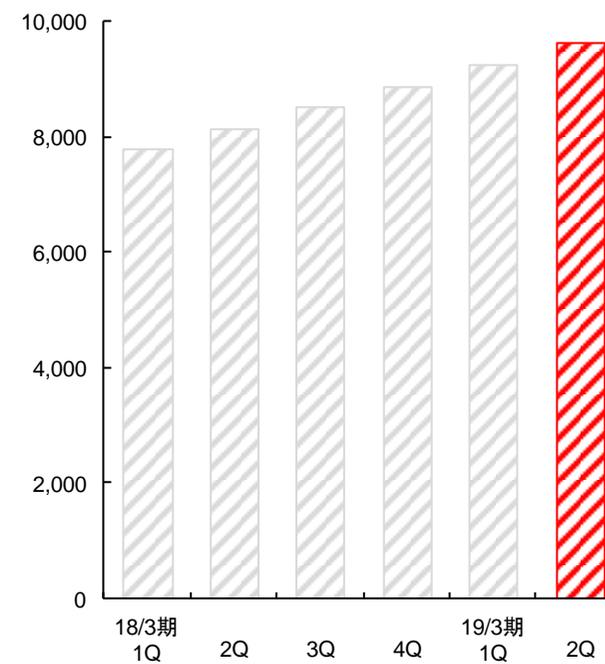
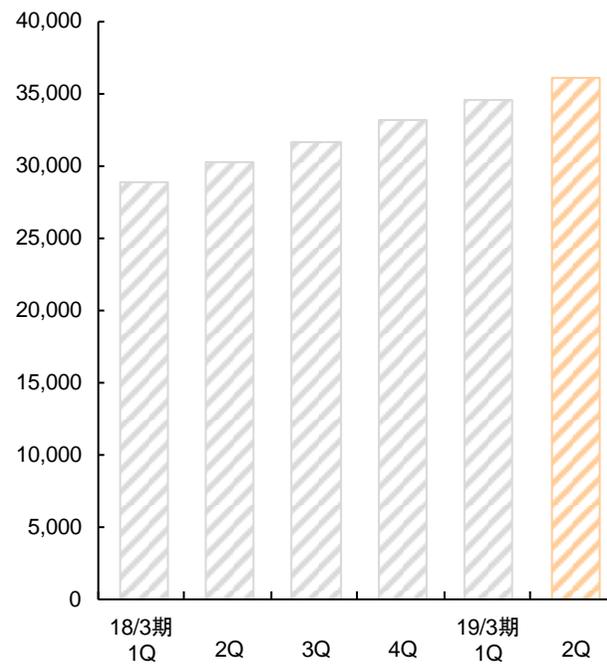
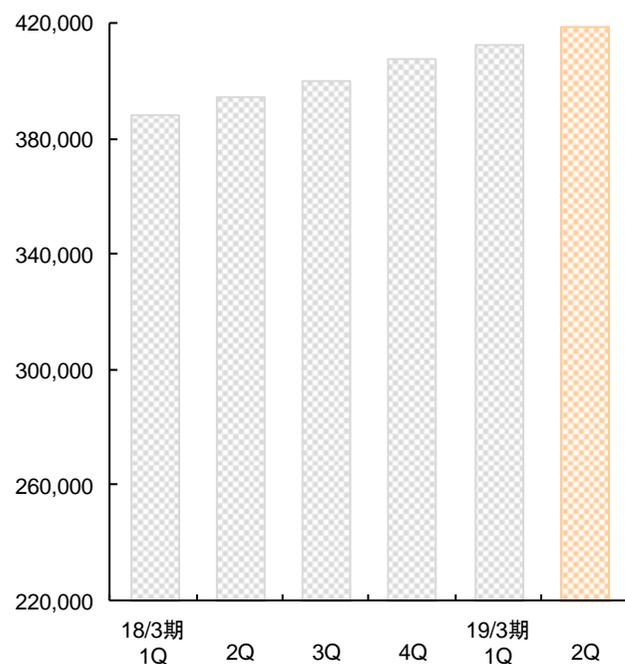
運用業務（お客様紹介業務・金融商品仲介業務^(*)）

投資銀行業務（お客様紹介業務）

個人のお客様（口座数）^(*)

法人のお客様（累積件数）^(*)

法人のお客様（累積件数）



注) 口座数の実績は各四半期末の口座数を表示。件数の実績は運用業務、投資銀行業務ともに累積の数値を表示

(*) 三井住友銀行(以下、「SMBC」)の金融商品仲介業務:当社が金融商品仲介業務を委託したSMBCがお客様に対して証券取引の勧誘・媒介等を行う

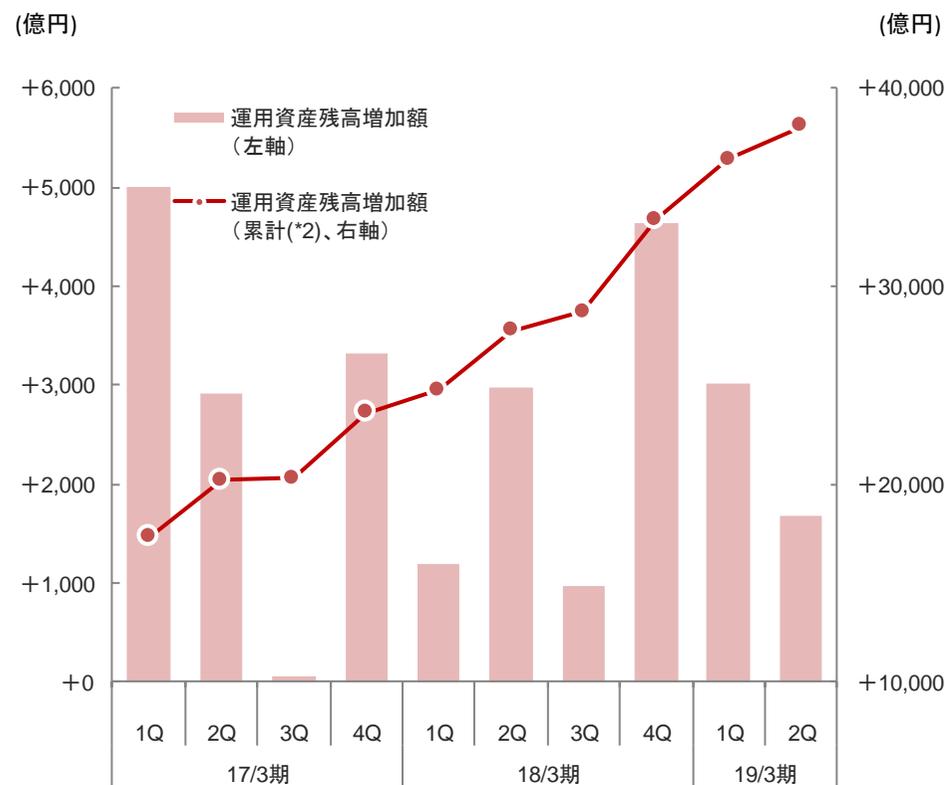
(*) SMBCから当社に対して紹介された個人のお客様の口座数及びSMBCの金融商品仲介業務を通じて口座を開設された個人のお客様の各四半期末時点の口座数

(*) SMBCから当社に対する法人のお客様の運用業務に係る紹介件数及びSMBCの金融商品仲介業務の件数を累積で表示

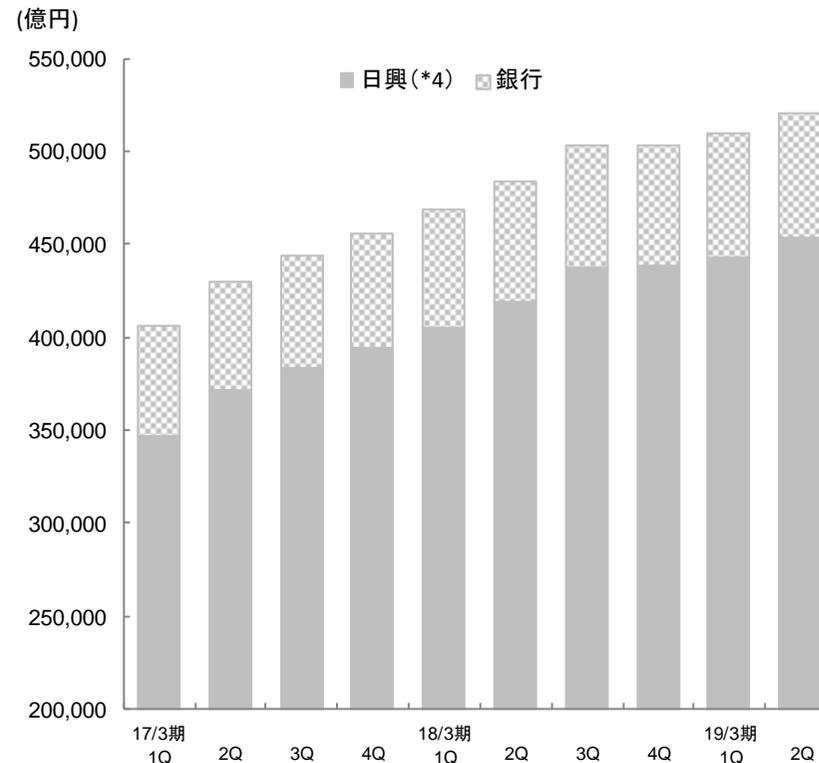
(参考資料) 銀証合算のリテール運用資産残高について

◇ リテールにおける、銀証合算の運用資産残高は増加傾向

リテール銀証運用資産残高増減額 (*1)



リテール銀証運用資産残高 (*3)



(*1) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(個人)の運用資産残高増減(資産導入額)の合計

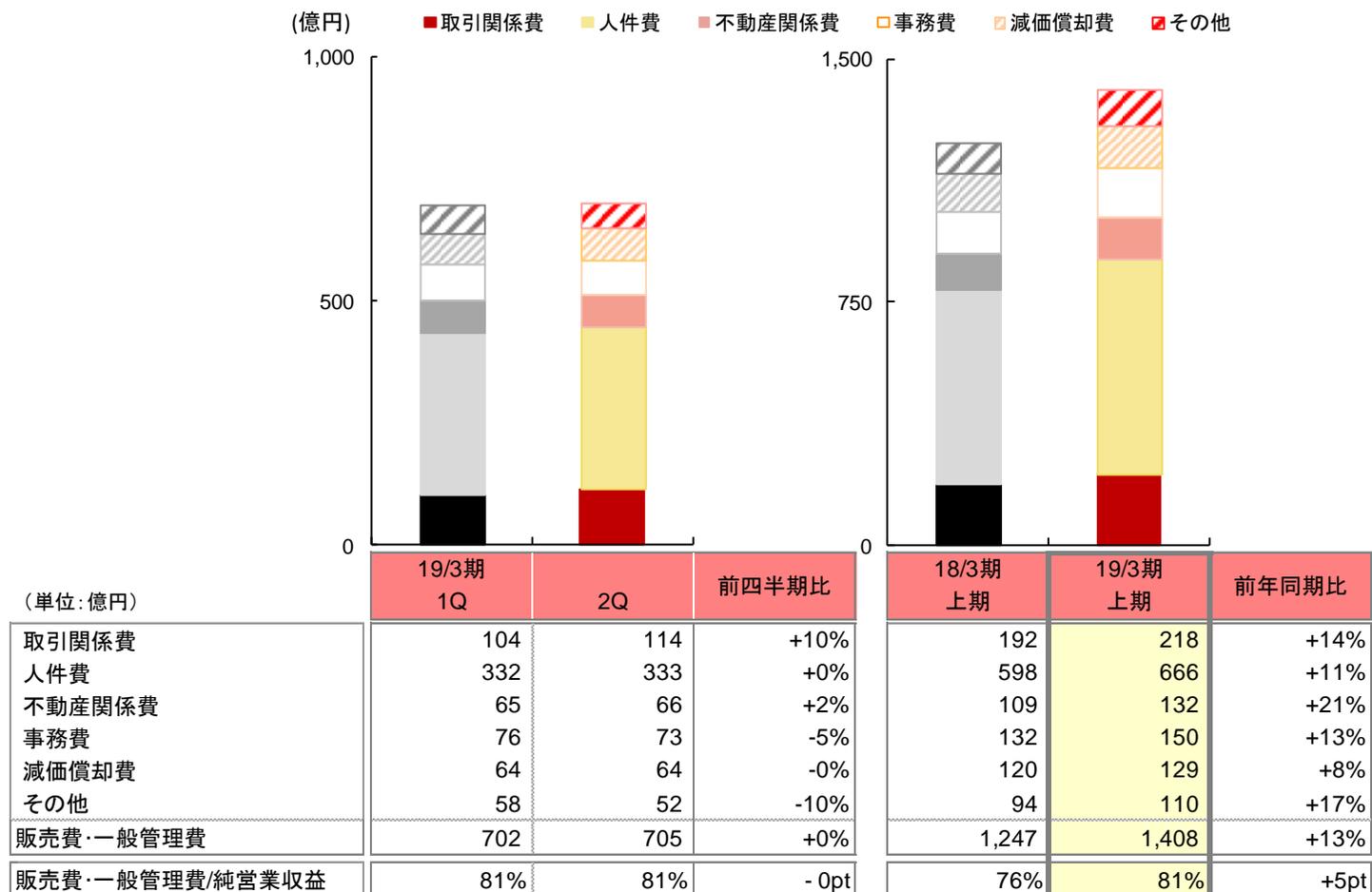
(*2) 2014年3月期第1四半期からの累計値

(*3) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(公益法人等の一部法人を含む)の運用資産残高(預り資産)の合計

(*4) 2017年3月期第1四半期から2018年3月期第3四半期は、旧SMBCフレンド証券を含む

販売費・一般管理費

- ◇ 上期の販売費・一般管理費は1,408億円(前年同期比+13%)
- ◇ 第2四半期の販売費・一般管理費は705億円(前四半期比+0%)



連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況

【SMBC日興証券単体】

(単位：億円)	18年3月末	18年9月末	前期末比増減
流動資産	103,658	109,816	+ 6,157
トレーディング商品	31,797	31,064	-732
有価証券担保貸付金	50,277	54,809	+4,531
その他	21,583	23,941	+2,357
固定資産	3,153	3,118	-34
有形固定資産	273	266	-6
無形固定資産	742	703	-38
投資等その他の資産	2,138	2,148	+10
資産合計	106,812	112,934	+6,122
流動負債	90,795	95,966	+5,171
トレーディング商品	24,946	22,317	-2,629
有価証券担保借入金	50,060	51,613	+1,553
短期借入金/CP	7,298	11,952	+4,654
その他	8,490	10,083	+1,593
固定負債・準備金	7,829	8,649	+819
負債合計	98,625	104,616	+5,990
純資産	8,187	8,318	+131
負債・純資産合計	106,812	112,934	+6,122

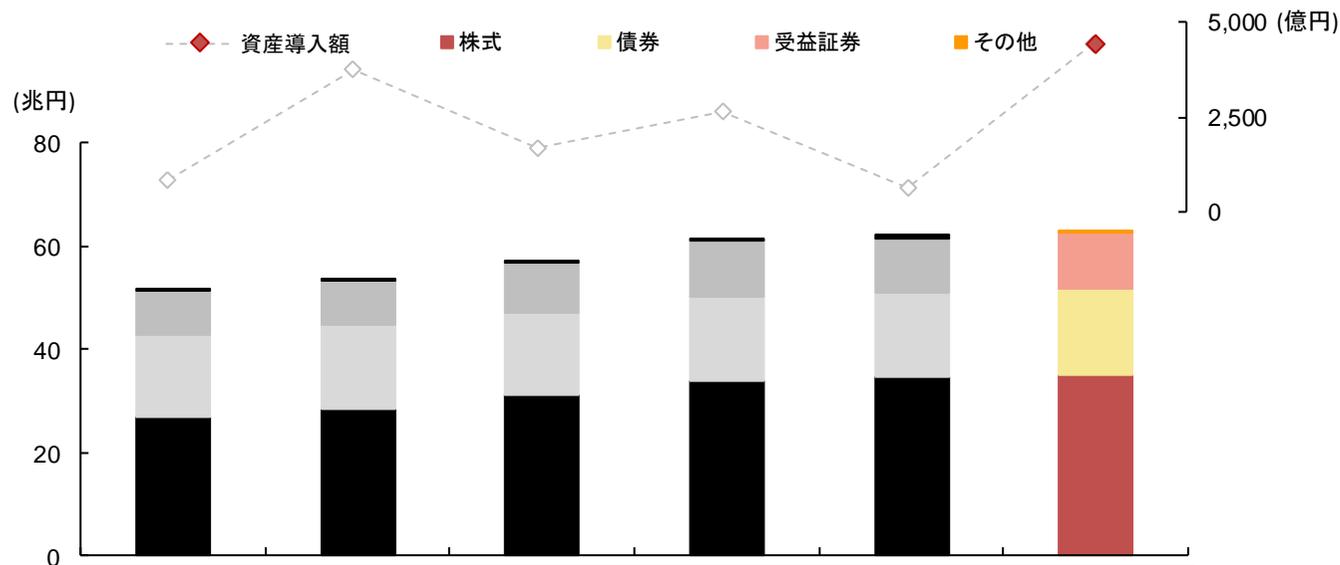
(単位：億円)	18年3月末	18年9月末	前期末比増減
基本的項目	7,357	7,419	+62
補完的項目	1,491	516	-974
控除資産	1,660	1,677	+17
固定化されていない自己資本	7,188	6,258	-929
リスク相当額	1,609	1,611	+1
市場リスク	624	544	-80
取引先リスク	242	336	+93
基礎的リスク	742	731	-11
自己資本規制比率	447%	388%	-58pt

長期格付 (2018年10月30日現在) 【SMBC日興証券単体】

Moody's	S&P	R&I	JCR
A1 [安定的]	A [ポジティブ]	AA- [安定的]	AA [安定的]

預り資産残高・資産導入額

- ◇ 2018年9月末の預り資産残高は63.0兆円(前四半期比+1.4%)
- ◇ 第2四半期の営業部門の資産導入額は4,436億円



(単位:兆円)

	18/3期 6月末	9月末	12月末	3月末	19/3期 6月末	9月末
株式	26.8	28.4	31.0	34.0	34.5	34.9
債券	16.0	16.2	16.0	16.4	16.4	16.8
受益証券	8.4	8.6	9.7	10.7	10.7	10.8
その他	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5
預り資産残高	51.6	53.6	57.2	61.6	62.2	63.0

(単位:億円)

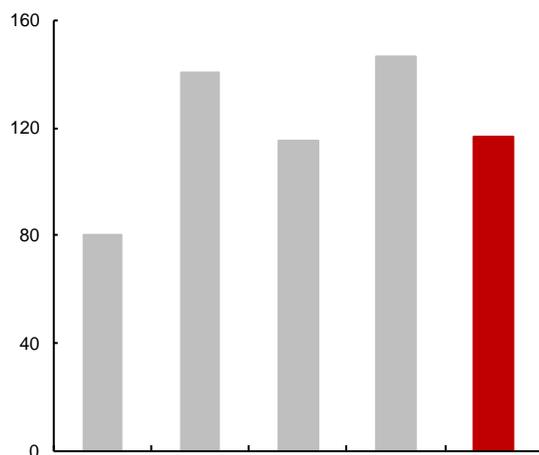
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
資産導入額(*)	824	3,768	1,671	2,648	617	4,436
入金入庫	10,968	14,750	14,377	17,669	12,663	14,666
出金出庫	-10,144	-10,982	-12,706	-15,021	-12,046	-10,229

(*) 集計対象は公益法人を含む営業部門

海外拠点の業績推移

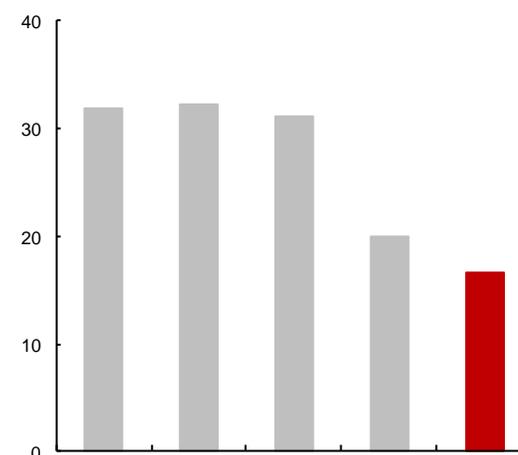
- ◇ 第2四半期の収支(内部管理ベース)は17億円(前四半期比-16%)
- ◇ 国内外の発行体による海外資金調達の増減に影響を受けるが、収支(内部管理ベース)は堅調に推移

収支(内部管理ベース) 年度推移 (億円)



海外拠点合計(*)	81	141	116	146	117
-----------	----	-----	-----	-----	-----

収支(内部管理ベース) 四半期推移 (億円)



海外拠点合計(*)	32	32	31	20	17
-----------	----	----	----	----	----

注:本決算が12月末の欧州、米州の拠点について、前期末までは3ヶ月遅れの数値を取り込んでおりましたが、第1四半期より直近数値を反映させております。

(*) 海外拠点合計は、下記の合計値

- ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)、SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)及び独フランクフルト証券現地法人準備会社(2019年3月期第1四半期より追加)の収支
- ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社(議決権比率:当社15.15%、三井住友銀行84.85%)のうち証券業務に係る収支及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社(議決権比率:当社20.00%、SMBC Financial Services, Inc.(三井住友銀行子会社)80.00%)の収支



提携先(アジア)

- KB証券(本社:ソウル)**
 - M&Aアドバイザー業務、DCM業務及びIPO分野における業務提携
- ファースト・メトロ証券(本社:マニラ)**
 - M&Aアドバイザー業務及びDCM業務を中心とした業務提携
- ベトロボトナム証券(本社:ハノイ)**
 - 海外進出支援等を中心とした業務提携
- ファトラ証券(本社:バンコク)**
 - M&Aアドバイザー及びDCM/ECM業務における提携
- コタック・マヒンドラ・グループ(本社:ムンバイ)**
 - M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

提携先(米州)

- シティグループ(本社:ニューヨーク)**
 - 多様な分野でワールドワイドに業務協働
- モーリス・アンド・カンパニー(本社:ニューヨーク)**
 - M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携
- BTGパクチュアル(本社:リオデジャネイロ)**
 - M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

ドイツにおける証券現地法人設立に係る認可取得

当社は、ドイツ・フランクフルト市における証券現地法人の設立に向けた手続きを進めておりますが、この度、ドイツ当局より、現地法人の設立認可を取得いたしました。英国のEU離脱後も、お客さまへの中断のないサービスを安定して提供するため、今後、日本の金融当局の認可等を前提として、合意なき離脱の可能性も視野に入れつつ、引き続き、来年の開業に向けた手続きを進めてまいります。

AI(人工知能)、ビッグデータを活用した取り組み

株式会社三井住友フィナンシャルグループおよび当社は、HEROZ株式会社とともに、人工知能(AI)を活用した投資情報サービスの実用化に向けた取組に着手いたしました。

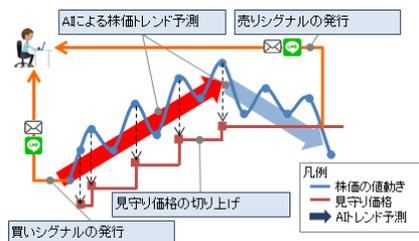
■ AI株式ポートフォリオ診断サービス

株価や決算データをもとにAIが1か月後の収益率を予測、お客さまのリスク許容度も踏まえた上で、現代ポートフォリオ理論に従い、お客さまのポートフォリオに成績向上が見込める銘柄をAIが提供します。



■ AI株価見守りサービス

市況や経済指標をもとに、AIが分析した株価トレンドを、当社が考案した投資手法に活用することで、適切なタイミングでの売買をメール等でお知らせします。



新テレビCM

当社は、富裕層のお客さまに向けたブランディング施策として、歌舞伎俳優で人間国宝の二代目中村吉右衛門(なかむらきちえもん)さんを起用した新テレビCM「その人生に、SMBC日興証券。」篇の放映を全国で開始いたしました。



「当社は、お客さまが築いてきた資産や、代々受け継いできた財産、事業、未来へ託す想いや人生観までまるごと受けとめ、金融サービスの提供を通じて、より豊かな人生に向かうためのご期待にお応えする、プレミアムな証券会社でありたい」、というメッセージを、コピーに込めています。

その人生に、SMBC日興証券。

SDGsファイナンス室の新設

当社は、環境問題や社会問題の解決を目的とした資金調達の支援や、更なる投資機会の提供を目的に、資本市場本部下に「SDGsファイナンス室」を新設いたしました。

1999年に日本初の環境の視点を取り入れた「日興エコファンド」の取り扱いを開始する等、早くから、事業活動を通じた社会問題の解決への取り組みを進めてまいりました。また、グリーンボンドをはじめとする社会問題の解決に資するファイナンスにも積極的に取り組んでいます。

参考資料



四半期損益推移 (連結)

(単位:百万円)	18年3月期				19年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業収益	91,483	91,543	109,773	104,605	97,367	96,914
受入手数料	41,726	43,495	56,257	57,984	50,357	51,566
委託手数料	9,165	8,821	12,822	11,785	10,393	9,657
引受け・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	5,659	6,820	10,180	9,078	8,866	9,820
募集・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	10,656	10,304	12,948	16,585	10,669	10,308
その他の受入手数料	16,243	17,549	20,306	20,534	20,427	21,780
トレーディング損益	38,008	34,770	40,493	34,057	34,057	31,196
株券等	8,568	5,569	13,506	7,234	10,721	6,824
債券等・その他	29,439	29,200	26,987	26,823	23,336	24,371
金融収益	9,600	10,988	10,669	9,740	9,547	10,698
売上高	2,148	2,288	2,352	2,822	3,404	3,453
金融費用	7,462	6,769	10,025	7,156	7,871	6,904
売上原価	1,856	2,057	2,090	2,631	3,055	2,868
純営業収益	82,164	82,716	97,657	94,816	86,439	87,141
販売費・一般管理費	62,353	62,418	68,254	74,637	70,291	70,551
営業利益	19,811	20,297	29,402	20,178	16,148	16,589
経常利益	20,960	20,938	30,531	22,552	18,051	18,194
特別損益	-372	-517	-931	-4,210	-652	-133
税金等調整前当期純利益	20,587	20,420	29,599	18,342	17,398	18,060
法人税等	6,093	6,054	8,918	4,169	2,397	5,123
当期純利益	14,493	14,365	20,681	14,172	15,001	12,936
親会社株主に帰属する当期純利益	14,491	14,365	20,677	14,170	14,996	12,928

四半期損益推移 (SMBC日興証券)

(単位:百万円)	18年3月期				19年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業収益	86,651	86,282	104,225	98,857	90,835	89,859
受入手数料	39,243	40,737	53,276	55,292	47,490	48,552
委託手数料	8,449	8,149	12,055	11,324	9,673	8,857
引受け・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	5,659	6,820	10,180	9,078	8,866	9,820
募集・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	10,594	10,281	12,925	16,485	10,635	10,177
その他の受入手数料	14,540	15,485	18,114	18,404	18,315	19,697
トレーディング損益	38,006	34,770	40,492	34,056	34,053	30,943
株券等	8,568	5,569	13,506	7,234	10,721	6,567
債券等・その他	29,437	29,200	26,985	26,822	23,331	24,376
金融収益	9,401	10,773	10,456	9,508	9,292	10,363
金融費用	7,315	6,609	9,856	7,010	7,683	6,692
純営業収益	79,336	79,672	94,368	91,846	83,152	83,166
販売費・一般管理費	61,189	60,978	65,815	72,349	68,473	68,297
営業利益	18,146	18,693	28,552	19,497	14,678	14,869
経常利益	18,348	19,228	28,764	21,155	15,714	16,038
特別損益	-372	-517	-943	-4,464	-655	-133
税引前当期純利益	17,975	18,710	27,821	16,691	15,059	15,905
法人税等	5,460	5,676	8,571	3,736	2,742	4,675
当期純利益	12,515	13,034	19,249	12,954	12,316	11,229

◇主要商品販売額

(単位: 億円)	18年3月期				19年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
投資信託	5,507	5,660	6,613	10,130	6,507	6,382
(株式投資信託)	(4,537)	(4,620)	(5,420)	(8,595)	(5,354)	(5,093)
(外国籍投資信託)	(711)	(883)	(1,028)	(1,366)	(982)	(988)
ファンドラップ	1,056	1,024	1,369	653	978	656
外債(*1)	7,873	7,252	7,358	7,557	7,342	9,346
(外貨建て債券)	(2,212)	(2,566)	(1,534)	(2,265)	(2,334)	(2,333)
国内債	10,416	7,739	9,917	6,773	8,815	12,181
(個人向け国債)	(1,291)	(1,750)	(1,327)	(1,987)	(1,168)	(1,846)
株式募集	358	1,566	1,195	1,365	910	1,084
年金・保険商品	85	166	242	175	251	397
主要商品販売額合計	25,295	23,406	26,693	26,652	24,803	30,045

(*1) 外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む。

◇マーケットシェア

	18年3月期				19年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
株券引受 グローバル株式 (*2)	9.9%	6.2%	8.6%	11.4%	15.9%	13.4%
債券引受 円債総合 (*3)	19.5%	16.1%	16.9%	17.2%	16.4%	18.7%
M&A 日本企業関連 (*4)	14.8%	9.1%	9.1%	9.1%	36.9%	29.5%

(*2) グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

(*3) 円債総合・主幹事

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

(*4) 日本企業関連M&A公表案件(取引金額シェア)

出所: THOMSON REUTERS

◇ダイレクトチャネル比率 (*1)

	18年3月期				19年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
約定件数ベース	92.2%	91.1%	90.7%	91.3%	91.3%	92.1%
（日興イーजीトレード）	（ 88.1%）	（ 87.1%）	（ 86.2%）	（ 86.8%）	（ 87.3%）	（ 88.3%）
手数料ベース	26.7%	24.4%	27.6%	26.5%	20.5%	22.1%
（日興イーजीトレード）	（ 17.7%）	（ 16.1%）	（ 17.8%）	（ 16.8%）	（ 12.5%）	（ 13.0%）

(*1) SMBC日興証券における個人のお客様からの株式・CB取引（委託売買、募集）に占める対面以外の比率。

◇売買代金・手数料率 (*2)

(単位:億円)	18年3月期				19年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
株式委託売買代金	72,959	73,541	92,427	88,467	87,214	81,279
株式委託手数料(*3)	86	85	124	110	99	90
単純平均委託手数料率	10.8bp	10.6bp	12.3bp	11.7bp	10.5bp	10.1bp

(*2) 株式委託売買代金・委託手数料率は現物および信用取引を集計対象としている。

(*3) 連結ベース

【SMBC日興証券単体】

◇口座数 (単位:千口座)	18年3月期				19年3月期	
	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9
総口座数	2,813	2,829	2,838	3,327	3,352	3,370
証券総合口座数	2,486	2,500	2,512	2,851	2,872	2,883
新規登録口座数	31	30	30	41	40	39

【SMBC日興証券単体】

◇店舗数	18年3月期				19年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
国内店舗数	124	124	123	148	149	148

◇人員数	18年3月期				19年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
人員数	10,698	10,559	10,456	11,987	12,382	12,169
海外拠点人員数	491	524	556	579	601	631

(*) 海外拠点人員数は、下記の合計人員数

- ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)、SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)及び独フランクフルト証券現地法人準備会社の人員数
- ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社のうち証券業務に係る人員数及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社の人員数

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券

100TH
ANNIVERSARY
おかげさまで百周年